

## ②義務教育の充実

### 基本的方向

2008年（平成20年）に改訂された「学習指導要領」では、「生きる力」をはぐくむという理念のもと、「確かな学力」「豊かな人間性」「健康・体力」の知・徳・体をバランスよく育てるとともに、特に学力面では知識や技能の習得と、それらを活用して課題を解決するための思考力・判断力・表現力などの育成が求められています。

一方、全国学力・学習状況調査が始まって、各学校が学力向上に取り組む中で泉南市の児童・生徒の正答率も徐々に向上し、児童生徒の問題行動や不登校も減少しつつあります。

「※市民意識調査」の結果においても、子どもの教育について重点をおくべきこととして回答者の52.2%が「基礎学力の充実（将来の社会生活に最低限必要な学力を高めることなど）」をあげており、唯一過半数を得た項目となっています。

また、近年特別な配慮の必要な子どもが増加していることから、学校の授業などにおける※ユニバーサルデザインの工夫を進めるとともに、※<sup>ほうせつてき</sup>包摂的〔インクルーシブ〕な教育環境の実現をめざしていくことが求められています。

これらのことから、すべての子どもが学校生活を楽しみながら、その学力を伸ばすとともに豊かな心をはぐくんでいくことをめざします。また、家庭・地域と連携し、子どもたちが安全で安心して生きいきと育つ地域環境づくりをめざします。

### 施 策

#### 1) 生きる力の育成

学力調査の結果を踏まえ、学校の取り組みを検証して、授業や教育課程の改善に活かすことにより学力の向上をめざします。

また、小学校と中学校が連携して問題行動の未然防止や道徳・キャリア教育の充実、学校行事などの創意工夫を図り、子どもたちの自己実現を支えます。

#### 2) 生徒指導・相談体制の充実

学校における生徒指導体制を確立するとともに、小学校と中学校が連携して※中1ギャップなどの克服をめざします。

また、※スクールカウンセラーや※スクールソーシャルワーカーを配置し、教育相談体制の充実を図ります。

#### 3) とともに学びともに育つ学校づくり

障害の有無にかかわらず、すべての子どもたちが互いを尊重しあいながら一緒に学べる学校づくりをめざします。

#### 4) 安心して過ごせる学校・地域づくり

学校と地域が密接に連携し、登下校時や放課後も子どもたちが安心して過ごせる環境づくりに努めます。

#### 5) 就学・進路支援の充実

就学費用の援助などの支援をおこなうとともに、進路の相談やそのための情報提供など、進路対策の充実を進めます。

#### 6) 教育環境の整備

新しい時代のニーズへの対応と既存施設の有効利用を図るため、効果的な改修・改築を進めます。

また、少子化が進む中で学校規模適正化の課題となっている調整区の解消を図り、一人ひとりの教育環境の保障に努めます。

#### 7) 学校給食の充実

子どもたちが、健全な食習慣を身につけ健康で豊かな人間性を育むことができるよう、学校給食の充実に努めます。